

日本くすりと糖尿病学会糖尿病薬物療法認定薬剤師制度 2024年 第2回技能研修会 基礎編（地方開催） 開催日：2024年6月30日

<集合 開催>

この研修会は、本学会の糖尿病薬物療法認定薬剤師制度における、履修薬剤師制度（旧：准認定薬剤師制度）申請・更新のためのプログラムです。

糖尿病薬物療法において必要な知識に対するレクチャーと検討会、実習を行います。日常業務において、糖尿病患者さんに対し薬剤師として何をするべきか、何ができるかを考える機会が多いと思います。活発な意見交換に是非ご参加下さい。本研修会は、上記対象者以外の方も参加できます。

午前 10:00～12:00

<症例検討>

スモールグループに分かれ、提示された症例について、問題点の抽出と解決方法や対応などについてディスカッションをしていただきます。

- 9:30 より参加受付
9:55～ 開会の辞
10:00～ セミナーの目的・進行等説明
症例の説明
10:10～ グループディスカッション①
レクチャー：低血糖、シックデイ etc
10:55～ グループディスカッション ②
レクチャー：インクレチン製剤 etc
11:55～ まとめ
12:00 終了・休憩

午後 1:00～3:00

<インスリン・GLP-1 受容体作動薬注射手技・ 血糖自己測定手技>

医療用具・機器（注入デバイス・注射針・血糖自己測定器など）の基本原理を理解し、適正に使用する手順とその理由について説明でき、実践できることを目標としています。

- 12:55 までに再入室
13:00～ セミナーの目的・進行等説明
①注入器および穿刺器具、血糖測定器の原理
②注入器の基本操作手順、SMBGの基本操作手順
13:30～ 手技レクチャー1 および2
(13:55頃レクチャー内容入れ替え)
自己注射手技のレクチャーおよび体験
懸濁製剤振り混ぜデモ、カートリッジ製剤交換デモ
SMBG手技のレクチャーおよび体験
14:20～ 技能試験1 自己注射手技の操作の一部を1課題
技能試験2 SMBG手技の操作の一部を1課題
14:50～ 総括
14:55～ 閉会の辞・終了

会場：熊本赤十字病院 救急棟 5F 505・506 会議室 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1番1号

受講料：6000円（会員）・10000円（一般）

受講認定：日本くすりと糖尿病学会糖尿病認定薬剤師制度(06)研修単位 2.5単位
糖尿病薬物療法認定薬剤師制度 基礎編技能研修 修了証（2種 各1部）

申込方法：日本くすりと糖尿病学会ホームページからお申込みください。<https://jpds.or.jp/>

募集人数：20名 5月13日(月)20時受付開始（6/2〆切 但し、定員に達し次第受付終了）

注意事項：

- ・研修会は次の書籍を参考にレクチャーを進めますので、ご用意いただくことを推奨いたします。『糖尿病の薬学管理必携 糖尿病薬物療法認定薬剤師ガイドブック』(じほう)、『糖尿病治療ガイド』(日本糖尿病学会)、『糖尿病薬物療法 継続的薬学管理のためのびき』(日本くすりと糖尿病学会)
- ・本研修会は、定期開催とは別に地方会として開催いたします（定期開催は7月にWeb開催を予定）。感染対策には配慮いたしますが、会場では手指の消毒、マスクの装着にご協力願います。
- ・当日の昼食につきましては、主催者側での準備はありませんので各自でご用意ください。なお、会場で食事を摂ることは可能ですが、「黙食」にご協力願います。
- ・当日、37.5℃以上の発熱または呼吸器症状がある方の参加はご遠慮ください。
- ・急な天候の悪化や交通遅延・障害であっても遅刻に関する例外は認めません。とくに遠方の方は余裕をもって会場へお越しください。
- ・受講者の氏名、薬剤師免許番号、会員の有無の情報は、本研修会以外の目的では使用しません。
- ・修了証・認定単位は、研修会終了後に修了が認められた参加者へお渡しします。参加者による紛失等があっても再交付は致しません。
- ・本研修会では、他のCPC認定団体への受講証明書の発行は致しません。
- ・いかなる場合もご返金は致しかねますのでその旨ご了承下さい。また期日まで入金が確認できない場合は自動的にキャンセル扱いとなります。
- ・後日、参加案内メールが届きます。参加方法はその指示に従って下さい。開催5日前までに受講案内メールが届かない場合は、事務局にご連絡下さい。
- ・開始時間より10分以上の遅刻、および途中退席の場合は、修了証および認定単位はお渡しできません。また、代理人の参加はできません。

主催：一般社団法人 日本くすりと糖尿病学会 技能研修小委員会
問合せ先：一般社団法人 日本くすりと糖尿病学会 事務局 E-mail：info@jpds.or.jp

日本くすりと糖尿病学会 糖尿病薬物療法認定薬剤師制度

2024年 第2回技能研修会 基礎編（地方開催）

開催日：2024年6月30日（日）

10：00～12：00 症例検討

13：00～15：00 インスリン・GLP-1 受容体作動薬注射手技と血糖自己測定手技

【技能研修小委員会・ファシリテーター】

・秋吉 明子 ・西村 博之 ・廣田 有紀 ・坂倉 圭一 ・中野 玲子 ・武藤 達也 ・森 貴幸（一部 Web 出席）

くすりと糖尿病学会認定薬剤師に必要な、薬物療法における以下の専門的スキルを習得するための研修会です

症例検討 コース

処方設計の理解と情報のとり方 ～処方箋と糖尿病手帳から読み取る～

【オーガナイザー】

- ・(株)大和調剤センター 森 貴幸
- ・すこやか薬局／東京医科大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 坂倉 圭一

【研修の目的】

糖尿病薬を飲み忘れ時の対応やシックデイなどの対応を概説し、服薬指導を行うことができる。
運転中に低血糖を起こす危険のある薬剤を理解し、危険回避について適切な指導ができる。
病院・薬局に来られる患者さんの療養指導事例を通して、基本的な糖尿病治療の臨床的な状態、医師の治療内容、指導のポイントや関わり方を学習する。
グループワークにより、他施設の薬剤師と参加者同士のコミュニケーションが構築できる。

自己注射・SMBG コース

【オーガナイザー】

- ・萬田記念病院 薬局 中野 玲子
- ・名鉄病院 薬剤部 武藤 達也

【研修の GIO】

医療用具・機器（注入デバイス・注射針・血糖自己測定器など）の基本原則を理解し、適正に使用する手順とその理由について説明でき、実践できる。

【研修の SBOs】

1. 注入器の原則を理解し、注入操作手順の成り立ちを説明できる。(知識)
2. 適正な注入部位と注入箇所、そして皮膚のケアについて概説できる。(知識)
3. SMBG の原則について概説できる。(知識)
4. 適正な注入操作(手技)を実践できる。(知識、技能)
5. 注射針の特徴を把握し、適正な穿刺法を実践できる。(知識、技能)
6. 代表的な穿刺器具と血糖測定器を適正に使用できる。(技能)